

日本臨床検査専門医会

平成 22 年度第三回全国幹事会議事録

平成 22 年 9 月 9 日

平成22年度 第三回全国幹事会 議事録

日 時：平成22年9月9日（木） 午後0時30分～午後1時30分

場 所：京王プラザホテル 本館4F 「けやき」

出席者：渡辺 清明会長、佐守 友博副会長、渡邊 卓副会長、
矢富 裕、山田 俊幸、土屋 達行、村田 満、東條 尚子各常任幹事、
水口 國雄監事、尾崎由基男、小田桐恵美、康 東天、北島 勲、木村 聡、
熊坂 一成、幸村 近、小柴 賢洋、諏訪部 章、田窪 孝行、船渡 忠男、
前川 真人、三井田 孝、宮澤 幸久、盛田 俊介各全国幹事（24名出席）

欠席者：高木 康監事、安東由喜雄、三家登喜夫、日野田裕治、松尾 収二、
満田 年宏各全国幹事（6名欠席）

事務局：藤本 梨恵

議事の審議内容及び議決の結果

東條庶務会計・幹事が開会を宣し、出席者24名、委任状5名あり、3分の1以上の出席を満たしているため、総会の定足数に準拠し本会議成立を確認の上、議長として渡辺会長を満場一致にて選任。議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

審議事項

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次の者を選任した。

議事録署名人 小田桐恵美幹事、船渡 忠男幹事

第二号議案 平成23年度予算案について

議長は、平成23年度の予算案について、その詳細を東條庶務・会計幹事に説明させた。会員会費は100%徴収見込みとした。賛助会員会費や教育セミナー受講者の減収が見込まれるため、収入は本年度より低く設定した。支出では、事務所賃貸料の増額ならびに、会長選挙経費として印刷代、通信費を増額した。要覧印刷代、GLMセミナー費用、ホームページ製作費は計上せず、単年度収支は0とした。以上を議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、予算案については、本議事録の末尾に添付する（資料1）。

第三号議案 有功会員の推薦について

議長は、平成23年度の有効会員の推薦について、その詳細を土屋資格審査・会則改定委員長に説明させた上、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

有功会員の推薦 皆川 彰先生、古田 格先生

報告事項

(1) 平成22年度中間決算報告について

東條庶務・会計幹事より、平成22年度中間決算報告について説明があった。収入においては会員会費の納入率が70%と低い。支出では、事務局移転に伴う費用を予備費から支出した。事務所賃貸料が高くなったため当初予算より50万円ほど支出増の見込みである。なお、中間決算報告については、本議事録の末尾に添付する（資料2）。

(2) 年会費納入状況について

東條庶務・会計幹事より、過去3年間の年会費納入状況について説明があった。2年間未納入の場合は出版物の郵送やWIREの配信を停止しているが、退会のペナルティーはない。本会は収入のほとんどを年会費に依存しているため、会の活動維持には会費納入率をあげなければならない。未納入分合計の振り込み依頼票を再送付し未納金を明確にする、総会・春季大会開催中に現金による年会費納入を受け付け会員の利便性を高める等、事務局から積極的に働きかけるようにする。また、未納者に納入を促すよう幹事にも協力を求めた。

(3) 各種委員会・WG報告

① 情報・出版委員会

矢富委員長より、以下の活動報告があった。

- 1) ホームページを平成22年9月9日にリニューアルした。
- 2) 要覧は今週送付された。利用度の高いものが完成した。
- 3) Lab CP 28巻2号は、「採血について」を発刊予定である。
- 4) JACLaP WIREは、「会員限定版」と「非 会員限定版」の使い分けをしている。
- 5) JacLAP NEWSはNo. 108号を平成22年7月に発刊した。
- 6) 日本衛生検査所の協会誌『ラボ』に、『**気になる「癌と検査のこと」専門医が教えます**』は平成23年3月でシリーズが終了する。日本臨床検査医学会期間中に委員会を開催し、次期シリーズの構想を検討する予定。

佐守副会長より、ホームページのトップページから臨床検査振興協議会へのリンクボタンがあった方がよいとの意見があった。

② 教育・研修委員会

山田委員長より、2010年7月に行われた臨床検査専門医受験生のための実技研修の受け入れについてのアンケート調査結果について説明があった。

送信アドレス数：567 返却施設：83（14.6%）

受け入れ 可：46 不可：37

可能施設の地域分布（施設数）：北海道（0）、東北（2）、関東甲信越（19）、東海北陸（5）、近畿（7）、中国四国（6）、九州（7）

中規模病院、大学病院で受け入れ可能との回答があった。専門医試験に向けた検査実技の実習の在り方については、さまざまな意見があるため、アンケート結果も参考に慎重に検討していきたいとの説明があった。

平成23年度春季大会前に開催予定の第一回生涯教育講演会（案）について説明があった。参加費は2,000円としてこれを議場に諮り、全員異議なく承認可決された。

記

開催日時 平成23年（2011年）6月10日（金） 2時間程度

開催場所 アイーナ（岩手県民情報交流センター）

演者 未定

参加費 2,000円

対象者 全専門医

以上

なお、山田委員長より、本講演会を専門医更新の必修単位として認定を受けたいとの意見があり、日本臨床検査医学会の臨床検査専門医・管理医審議会に提案することが承認された。

③ 資格審査・会則改定委員会
特になし。

④ 渉外委員会

佐守委員長より、第27回臨床検査振興セミナーについて下記の通り報告があった。参加者は今年度105名と盛況で（昨年度62名）、活発な討議が行われた。

記

テーマ：これからの診療報酬改定 ～おもに臨床検査に関して～

開催日時：平成22年7月22日（木） 14時～

開催場所：東京ガーデンパレス

座長：佐守 友博 委員長

演者：佐久間 敦講師（厚生労働省 保健局医療課 課長補佐）

宮澤 幸久講師（日本臨床検査医学会 理事長）

田澤 裕光講師（日本衛生検査所協会 副会長）

参加者：105名

⑤ 保険点数委員会

渡辺委員長より、保連委員平成24年度次期診療報酬改定に向け、9月9日3時から日本臨床検査医学会の臨床検査点数委員会との合同開催で行う予定であるとの報告があった。

⑥ 専門医数増加方策検討ワーキンググループ

木村委員長から、第2回WGを9月11日19時から開催し、さらに具体的に検討する予定であるとの報告があった。木村委員長から専門医試験の試験問題を公開してはどうかとの提案があった。これに対し、専門医については2015年をめどに日本専門医制評価認定機構による第三者評価が必要となるため適正な形をとる必要がある（宮澤幹事）。山田教育・研修委員長から公開は難しい（山田教育・研修委員長）。テキストを配布してはどうか（村田幹事）との意見があった。

⑦ 専門医広告・啓発促進ワーキンググループ

村田委員長より、第2回WGを9月9日3時から日本臨床検査医学会 広報委員会との合同委員会（佐守友博委員長）を開催予定であるとの報告があった。臨床検査専門医は日本専門医制評価認定機構において「I.基本領域の学会」に位置しておりこれをキープしたい。

（4）平成22年度第一回、第二回臨床検査専門医・管理医審議会報告
東條庶務・会計幹事より、資料をもとに報告があった。

（5）その他

① 「臨床検査の日」制定のお知らせ

佐守副会長より、臨床検査振興協議会が制定した「臨床検査の日」制定記念フォーラム開催についての説明があり、支援ならびに参加協力の依頼があった。

記

開催日時：平成22年11月11日（木）午後2時～4時30分

開催場所：中野区もみじ山文化センター 「なかのZERO 小ホール」

参加費：無料

② 平成23年度年間行事予定

東條庶務・会計幹事より、平成23年度活動予定の説明があった。教育セミナー2回は4月から5月の間で実施する予定だが、期日は未定である。なお、平成23年度年間行事予定については、本議事録の末尾に添付する（資料3）。

③ 東條庶務・会計幹事より、保健科学研究所株式会社 宮哲正先生より、会議用折りたたみ机4機、椅子10脚を寄贈していただいたので、感謝状をお渡ししたとの報告があった。

④ 第2回全国幹事会 議事録訂正について

東條庶務・会計幹事より、議事録訂正について説明があった。

記

一頁 二行目

誤) 日時：成22年6月4日（金）

正) 日時：平成22年6月4日（金）

五頁 二六・二七行目

誤) 消化器WG：池田均講師 神経・精神WG：湯本真人准教授

正) 消化器WG：池田均准教授 神経・精神WG：湯本真人講師

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 22 年 月 日

小 田 桐 恵 美 印

平成 22 年 月 日

船 度 忠 男 印